京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●偶感 勿禁

▲三十五萬圓の貸出資金に對して百五十萬圓の申込ある東拓會社金融部に於ては未だ只の一口も貸付を爲さゞる由に候が原因は抵當物たる不動產を調査するが困難なるが爲めなりとのことに候、所で熟々惟みるに東拓會社と困難といふ字は何うやら附き物の如く一にも困難二にも困難、困難〳〵で貴重なる時間を潰し居るやうに思はれ候がさほど困難なればイッソ今の中に業を廢むるがよろしかるべく又困難に甘んじて遣つて除ける決心ならば何も女郎の泣言見たやうに愚痴をこぼさゞるがよろしかるべく候

▲驛屯土引繼難といふ新聞記事は屢々余輩の觀する所に候、開業以來四ヶ月初めより引繼難のみかこち居り候、固より土地臺帳とてもなく何れが異個の驛田やら屯田やら解らぬ所を調査することに候へば容易の業には無之恰かも盲目が物を探すと同樣の觀有之候もソウ何時迄も引繼難のみ稱へ居るやうではサッパリ事が進捗せず終には奔走に疲れはせずやと被案候徒らに有髯の船頭のみ多くして船員に進まず終に山に乘り上ぐるの醜態を演せざれば幸甚に候

▲歳入を増す上に於て三税を賦課することゝ成り既に其の筋にては地方人民に對して納付の告知書を發せし由に候、併し余輩の私見を以てすれば之が徴收はナカ〳〵困難にて到底完全に行はれまじきと被存候其の一例を申さば漢城衛生に従事するある官吏の嘆聲なりと云ふを聞くに「何うも朝鮮人には困る、一箇月僅か五錢か六錢の衛生費を徴收するに何遍となく足を運ばせ揚句の果てが納附すればソレでよきも何うあつても納めないものがある、依つて其の不心得を詰ると彼等は覺悟の色を表はして苦刑に處して呉れといふ而して更に衛生費納附の苦は苦刑の苦に如かずと濟し込み何うあつても納附せぬ而も此等のものは些細なる衛生費なきに非ずして肉体の苦痛を犠牲にしても衛生費などゝいふ贅澤な金を出すことを惜んで居る云々」と思ふに此の一事に徴しても如何に收税の困難なるかを知るに足るべく候さあらざるに於ても韓人は從來地方官衙の苛斂誅求に惱まされ一概に徴税とさへいへば一種呪ひの聲として聞くに於てをやに候

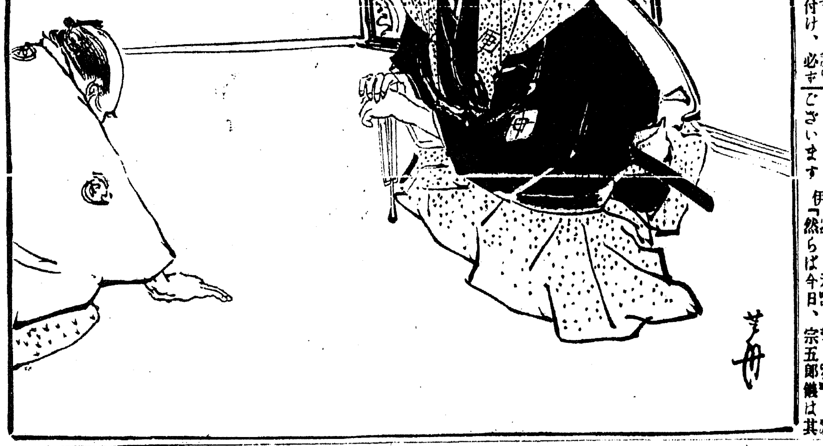
●養鴨と家庭 尹應生投

從來我國婦人の內職としては裁縫又は編物であるが是れは至つて收入が些細なもので且つ育兒や賄やの傍に內職をするには頗る不敵當であるが近來東京東大久保學農園で鴨種稱卵を分割して奬勵しつゝある椋木系禽鴨の如きは養鷄と異つて飼養法が簡易で餌量も手數も多く要さないそして收利の點から云ふと從來の內職に比較すれば數十倍に達するから吾輩は家庭に養鴨を奬勵するのである家禽用の眞鴨即ち靑頸は動物進化の理を應用して野生鴨を飼ひ馴らして繁殖させた種族の鴨であつて家鴨のやうにガアガア鳴きもせず、野生鴨のやうに高飛びもせず鷄のやうに田畑の農作物を堀返したり臺所や椽側などへ飛び上つて汚したり糞をしたりなどもせず其上に元來が野生質のものであるから餌は臺所の殘物や穀類昆虫川魚水苔水草等何んでも喰ふから飼養するには最も簡易である地方抔では池沼へ放飼ひにし又々陸飼にも出るから十羽二十羽飼養するには殆んど給餌の必要はない位である故に手數も費用も更に費らないさうして水陸兩飼孰れでも能く健康で成長するから鷄の樣に病氣に罹り又は羽虫か生じなどして素人に飼ひ難いやうなことはない夫れに一羽の雌で一ヶ年二百以上の產卵をし其卵は鷄の卵と更に變りがないばかりか一個十八九匁から二十匁位あつて黄味が大きく美味で鶩の如く泥がない雌の十羽も飼へば卵ばかりでも一ヶ年に四十圓位の收利は得られる夫れに孵化後二ヶ月で成鳥し五六ヶ月すれば產卵、屠肉用となるから雛を孵化した親鴨を屠肉用に賣つたりすれば年に二百圓以上收利を爲すには何んの造作もない之れが育兒や炊事の傍に婦人の孱弱腕で容易に生產し得る利益とすれば全く莫大なる者と云はねばならぬされば良人に迫つて衣類を購せたり小兒の玩具を買はせるには及ばない氣樂に育てられ自分も流行に遲れない好きな衣類を調製して被ることが出來るのみならず鴨は美しい温和な夫婦間の睦まじい鳥であるから小兒を遊はしたり又は自分等の教訓にもしたりするには最も適當で極めて家庭的である之吾輩か此養鴨を各家庭に生產的娛樂兼副業として推稱する所以である。



佐倉宗吾（百十二） 眞龍齋貞水講演

戸永五郎兵衛は、酷い御扱ひの上に、明治の時計なれば、午前九時に出頭いたしたのが、午後二時頃はひになつて漸くのことに此方へ來いと仰つしやる、其迄空腹を凌いで居りました、御飯を一膳下さらぬと云ふ扱ひ、坊主が憎くければ袈裟までもで、何うも上野介樣が、御大老の反對に立つて恐ろしい剛情でございましたから、自然上野介御憎しみの所から、それに連る家來の者も、斯る御取扱を蒙るのでございます、聽て御白洲には、正面に酒井雅樂頭を初め、御老中、若年寄、御奏者、寺社奉行、勘定奉行、殘らず御控へになつて居る、其御白洲の御次の室に、戸永五郎兵衛御控へになつて居ると、未だ何の御申し渡もなき內に酒井雅樂頭が 酒「ア、伊豆守 伊「ハア 酒「此程下總國印旛郡佐倉城主、堀田上野介領分木内宗五郎と云ふ者、御場所柄も恐れず致して、將軍家へ御直訴に及びたるは、重々不屆の至りなれども、多くの百姓の生命に代り、其身を捨てゝの直訴、誠に憫然なる者である、併ながら是は上野介に引渡した以上は、死刑申し付けるであらう、當人は勿論覺期いたし居るに依つて、兎や角う申すに及ばぬ事であるが、上野介に於ては宗五郎の妻子には、何の咎もなく致して一子を以て成人の後は村役に申し付け、必ず木内宗五郎の家を全ふさせる事能ひもなき事と存ずるが其許の考へは如何である 伊「是は〳〵、御大老樣仰せの如く、必ずとも堀田家に於ては左樣な取計は無論の事、私は存じ奉ります 酒「因幡丹後守は如何に考へるか 丹「私に於ても其如くと存じ奉ります 酒「久世大和守は如何に 大「御同意に存じ奉ります」と云つて聲高らかに戸永五郎兵衛の耳へ貫くやうに仰つしやいましたから、戸永は 五「ハ、ハア、斯りや宗五郎は、御直訴にも及び、領主の惡事を御訴をした者だから、是は是非に及ばず、憫然とは思召すが、死刑は免かれまい、又死刑にしなければ御國法も立たないが、連添ふ妻子には御構ひなく特に一子には後を立てさせ、村役でも勤めさせよと云ふ謎である」と心魂に徹して伺つて居ると、其事の御話が相濟んで、愈よ五郎兵衛を召されましたから、御掛伊豆守樣御前に、平身低頭をして居ると 伊「堀田上野介年寄、戸永五郎兵衛面を上げよ 五「ハ、ハアーッ 伊「此程將軍家へ御場所柄も辨へず、御直訴に及びし上野介の領分公津村々役木内宗五郎儀、上に於ても不埒な奴と思召すなれど、又その次第は段々と御推察あらせられ、格別の所の御處置を以て、領主上野介に御引渡に相成るに依つて、宗五郎儀に於ては、相當なる處刑に申し付けべきものなり、又申さぬとも相分つて居るが、宗五郎一人は、多くの百姓に成り代り、身命を擲ちしものなれど妻子の者は、之に同意のものと見做さぬに依つて、是は然るべきやう取計つて遣はせ 五「ホ、ホーッ、仰せの趣、確かに承知仕る是より立歸りまして、主人上野介へ斯くと披露いたし、仰せの如く取計ひますべきでございます 伊「然らば今日、宗五郎儀は其方の手に引渡すに依つて左樣心得て居ろ 五「有難く御受け仕ります」是は公儀から堀田家へ對し、木内宗五郎を引渡になるだけの御手續だけでございますから、此日五郎兵衛は夕間暮でしたが、御屋敷へ立歸りまして、此事を上野介樣へ申し上げる、然る所上野介樣無念の胸中を現はして 上「憎き宗五郎を受取れッ」と仰つしやる、それから堀田家から、受取人を差出しました時に大公儀に於ては、木内宗吾を牢舍から引出し 〇「さて宗五郎 宗「ハイ 〇「今日まで大公儀の手に於て、其方の始末をなされたるなれど、今日は領主上野介へ、御引渡し相成るに依つて、隨分身体を堅固にして、國法に從ひ最後を遂げよ、是と云ふのも、其方固より覺期の前であらうから、今更申す迄のことは無けれども、念のため申し置く」



(二) (日火) (月曜及祭日の翌日休刊) 明治四十二年六月二十二日 京城新報 (火曜日) 第百四十一號

京城新報

フェアバンクス氏を歡迎す

米國の政治家中に於て有德の聲聞高き前副頭領フェアバンクス氏は東洋視察の爲に來遊せられ、先つ其初に我日本を訪はれたり而して幾多我官民の歡迎宴に臨まれ懇篤切實なる談話を以て日米親善の意を表せらる今や氏は米國の一市民として來遊せられたりと雖も、氏の如き有力なる政治家を迎へて我官民が膝を交へ以て歡談すると共に我國民の眞情を親しく觀察せられたる事は日米國交の親善を增進するに大なる効力あるは敢て疑ふ可らず、而して我日本の觀察を畢へて我保護國たる韓半島をも視察されんとして來遊せらる、余輩は此賢德高き佳賓の來遊を滿腔の誠意を以て歡迎するもの也韓國に於ける我保護政治は稍々緒に就きたるのみにて未だ見るに足るべき施設なしと雖も、五百有余年來浸潤せる弊習を打破し新政の基を啓きたるの困難は亦一顧の價値なきに非ずと信ず、殊に我官民が誠心誠意韓國人の指導啓發に任ずる所の實狀を親しく目擊せらるゝは最も喜ぶ所也。殊に氏の如き公平にして令聞の高き人によりて實地觀察せらるゝ所を世に紹介せらるゝことを喜ぶもの也。若し我保護政治に就て世に誤解し居るものあらば氏の如き人によりて其眞相を紹介せらるれば其疑團を氷解せしむることを得む、是を以て余輩は我在留官民一致し其視察に充分便宜を與へ其眞相を諒解せしむるの事に出でんことを望むもの也氏が米國政治家中に於て有德の人たることは何人も知る所なるが、其敬虔なる基督教徒にして禁酒主義の實行者たることを知るもの少なし、氏は米國に於て諸種の矯風事業に極力斡旋せらる、所謂人道の戰士として尊崇せらるゝ也。從て政治界に於ても其行動極めて高潔にして米國民の最も推服する所也。氏はルーズベルト氏の如く英雄的の性格を缺くと雖も、其品性の高潔純淸にして温良恭謙なる徐ろに往時の倫古龍を偲ぶ者ありと聞く、余輩は氏の敬虔なる信念と高潔純淸なる品性に對して多大の敬意を拂ふと共に其高風を羨望するもの也。而して我國には此種の高潔なる政治家に乏しきを思ふて忸怩たらざるを得ず、今や此高潔なる政治家を迎ふるに當りて、我在留官民は宜しく最も淸き設備を以て歡迎の意を表せざる可らず。氏は我祖國に於ける饗宴に臨みて日本と米國との親善友誼は永久に渝ること無かるべしと言はれたり、是れ日本人の誠意希望する所也、余輩は氏の來遊によりて兩國の親善友誼の連鎖を益々堅確ならしめたるを喜ぶ、終に於てフェアバンクス氏及同夫人の前途に天の祝福あらんことを祈る。

伯林電報

▲露獨兩帝會見

露獨兩國皇帝の會見には露國總理大臣及兩國外務大臣も臨席したり兩帝會見の結果に就き露國政府側の報告は諸事圓滿に友愛の情を增せる旨傳ふるも民間側にては意の儘の良果なかりし旨を傳へたり(二十日東京經由)

桑港電報

▲布哇官憲無法

布哇にて官憲が無法にも邦人の家屋に侵入し金庫を破壞し書類を强奪したるにつき同盟罷工者は强盜犯として告訴したり(廿一日午後發東京經由)

東京電報

▲中銀の創立期

韓國中央銀行は來る十月迄に創立委員會を東京に開き十一月株式募集を爲し十二月第一回拂込を爲す都合なりと

▲渡邊子と批難

新任宮內次官渡邊千秋子の樞密顧問官兼任は宮中府中の別を亂すものとして攻擊批難の聲高し(以上二十一日午後發)

▲伊藤公の演說

伊藤公は十九日夜政友會の歡迎會席上に於て政友會稱讚の演說を爲したり(廿日午後發)

外報一束

●檢事の聲明 ホノルルに於て罷工煽動者を不法監禁し令狀なくして家宅搜索を行へる事實は益々日本人を激昂せしめたる形跡あり檢事ヘンリー氏も亦家宅搜索及び拘引令狀なく法律の順序を踏まざりし事を承認し居れど沒收したる書類に依りて刑事上の犯跡明確なりと聲明せりと

●小亞の大虐殺 小亞細亞のアダナ、アンチオク及びオスマニエの各地方に行はれたる最近の虐殺は實に恐怖すべき大殺戮にしてハミヂエのみにても約二千人の勞働者を殺害したりと

●激戰十時間 ジアヴキッド、パシヤの率ゆる土耳其軍はディアコヴア連山の山路に於て約十時間に渡る激戰の後アルバニア暴徒を破りジアヴキッド、パシヤはパピロックスを占領せりと

●英獨と露國 露國半官報ノーウオエウレーミヤは獨露兩帝會見に就き論評し露國は英獨衝突起るに當り自國の利益より見て嚴正中立を守らざるべからず殊に又獨逸は日露戰役に於て義心ある中立國なりしを以てなりと論述せり

雜報

●親書と謝電

韓皇には曩に侍從李會九氏を日本に派遣し伊藤公爵に親書を交付せしめられたることは既報の如くなるが右に付す九日午後五時在東京の韓太子より其筋へ向け左の電報ありたりと

大命を承け本日親翰を齎らし伊藤大師に交付大師頗る感荷謝電を發せり

伊藤公の謝電

貴皇帝陛下には特に太子殿下をして親翰を齎らして博文に賜はしむ博文優渥なる恩旨を拜して感激に堪へず不日親謁隆遇及び優詔を奉謝すべし

●前副統領入京

米國前副統領フェアーバンクス氏夫妻は豫定の如く廿一日午前八時四十分南大門驛着列車にて釜山迄出迎へたる米國總領事と共に入京したり停車場には鍋島參與官、三浦理事官、中村商業會議所會頭、戶叶大韓日報社長、飯島關稅局囑託、菱田統監府囑託、尹學務局長、聯合通信社員ボリアン氏其他の內外紳士夫人等五十余名出迎へたるが副統領には之等出迎者に一々握手し出迎の厚意を謝し米人團より贈れる花束を受け米國領事鍋島參與官と馬車に同乘米國領事館に入る

●鐵道管理局の改革

鐵道官制の改革は十九日樞密院の議を經て決定し之が改革の電報統監府に到着せしかば鐵道管理局にては同日直ちに左記記載の高等官十九名即ち事務官三名、事務官補四名、技師十一名、通譯一名を新官制の規定に依りて昇級せしむると同時に休職申付けられたるが尚此の外判任官以下二百五六十名の淘汰あるべき筈なるが取不敢休職高等官の氏名を擧ぐれば

一給俸 鐵道廳事務官松岡廣之、今藤慶四郎、中山助治

年俸千四百圓 事務官補嶺村素輔、木山遷、川崎庫之助、高橋知幾

三給俸技師谷口小次郎、四給俸技師大塚楳三郎、五給俸技師宇宿行正、同野崎泰一郎、同竹田寛二郎、同久保田正繼、六給俸技師安田恕三郎、七給俸技師池田勝藏、八給俸同山口龍之助、同井上虎次、同水木常信、通譯官北田虎雄

●宮中の收繭式擧行

宮中收繭式は二十一日午後一時より昌德宮內親蠶所に於て擧行されたるが韓皇后には手づから繭を取らせられ中村農務局長繭量を量りたる由當日は各皇族各大臣を始め中村農務局長、山本農務課長、岩田農商工部技師及本多水原勸業模範場長等參列したり

●新統監乘船變更

曾禰新統監は關釜聯絡船にて歸任の筈なりしも今回は副統監の時代と異り荷も統監の印綬を帶びて赴任する譯なれば普通客船にては威嚴に關すとて特に韓國稅關監視船光濟號(艦長は勝木海軍少佐)に搭乘する事に變更したりと云ふ因に光濟號には速射砲一門据付ありと

●東籍田の收納式

韓皇の親耕地なる東籍田の麥は今月末收穫期に達するを以て韓皇には近日百官を從へて同地に臨幸盛大なる收納式を擧行せらるゝ由

●統監歡迎と民團

京城民團にては二十二日統監着任に付き熊谷民長は水原迄出迎を爲すと同時に本町三丁目の角に緑門を設けて電燈を點じ煙火を擧げて歡迎の意を表する由

●負褓商の統監歡迎

西署進興會長李圭恒は新統監歡迎の爲め多數の韓國々旗を製し京釜線沿道の負褓商に交附し盛に歡迎せしむる計畫にて廿日地方負褓商總代に對し上京を促したりと

●學校生徒の出迎

二十二日夜曾禰統監南大門驛着につき學部大臣は二十一日漢城各公私立學校に對し當日は職員生徒一同同停車場迄出迎ふべく命を下したりと

●前副統領歡迎會

石塚總務長官は廿一日午後七時半より入京中の米國前副統領フェアバンクス氏夫妻を統監官邸に招き盛大なる歡迎宴を開けるが當日は米國總領事を始め各國領事日韓大官陪賓として參會したり

●新任郡主事へ訓示

此回郡主事に任用されたる各員に對し過日來內部大臣及同次官の訓示ありしが二十一日は平渡府縣課長の訓示ありし後度支部農商工部其他各部より事務官出席內部大臣官房に於て訓示する處ありたり

●京商議員候補者(二)

大島專藏君

京城洋服商中の重鎭たる淺田洋服店の主人大島專藏君は生粹の江戶兒で東京の眞ん中なる本町三丁目に藥種業を營み三十餘年間一意專念其の業に從事し大成を致したのであるされど勃々たる君の雄心は小成功に甘んずべくもあらずとなし夙くも意を韓國の將來に注ぎ明治二十七年渡韓して今の洋服業を始めたのである又君が公共の爲めには何物をも犧牲に供するの志は一般の認むる所三十四年選ばれて商業會議所議員となり爾來每期當選して今日に至つたのである

●米國總領事茶話會

昨二十一日米國總領事は今回來遊せられたるフェアバンクス氏及同夫人を主賓として同館內庭園に於て瀟洒なる茶話會を開催せられたり來賓は統監府側よりは大久保大將石塚長官代理鍋島參與官三浦理事官其他の諸氏各國總領事在留米國人韓人側より金允植其他の諸氏にて無慮百五十人主賓たるフ氏夫妻は總領事サンモンス氏の紹介に依り一々握手をなして愉快に談話を交換せり此間不絶韓國樂隊の演奏あり一同歡を盡くして散會したるは五時なりき

フェアバンクス氏の談話

峯岸本社長のフェアバンクス氏を訪へる際同氏の語られたる談片を左に揭ぐ

余が今回の旅行は單に觀光の爲也然るに日本に於ては非常の優遇を受け殊に東京に於ては兩陛下に拜謁するの光榮を得たり亦伊藤公大隈伯を始め有名なる元老及其他の政治家に面談するの光榮を得たり而て余が見る所の感想に於ては日本は實に偉大なる未來を有すると云事を斷言するに憚ね當地に來る途次京都大阪をも見たり韓國の事に就ては能く觀察するの時間なき爲に知る能ざるも日本の保護政治は韓國人に對して大なる善を成つゝある事を認むる云々と言て傍にありし金允植君に問て曰く韓國に於て今日迄世に出たる文學者は誰れ將た韓國に於てはセッキスピヤの文學を飜譯され居るやと、金允植君は何れも知らぬと答ふ、然るにフ氏は峯岸社長に問ふて曰く韓國の文學は如何なる徑路を辿りて發達せるやと峯岸社長は之に答て曰く、韓國には昔は文學盛なりし中頃殆んど杜絶の姿なりしを以て昔より連絡して進みつゝある文學なるものあるを知らずと尚其他種々雜談に移りて後旅行の前途に就て語らるゝ所に依ば京城を去て一先づ北京に行き清國を見物して后にマニラに渡航し夫れより香港を經て印度より埃及に廻る積也要するに今度の旅行に於て特に日本に於ては役人及政治家に面會するの機を得て日米親交の材料を多く見出したることを深く喜ふもの也云々因にフ氏夫妻は長途の旅行を續け居るにも拘らず非常に健康の如く見受けらる

●貨幣の流通額

韓國內に於ける內外貨幣の流通額は正確なる統計なきを以て到底其正數を知り難きも度支部の調査に係る昨年來現在流通貨幣額は千四百九十三萬六千百八十六圓にて內譯は第一銀行券九百二十二萬千〇六十圓新硬貨三百十二萬〇四百二十二圓葉錢百十九万七千七百七十圓日本各通貨三十九萬四千二百七十圓なりと

●南浦電燈會社設立

鎭南浦に於ける電燈事業は其後秋本理事官の斡旋盡力に依り着々歩を進め居る由なるが同會社は合資組織にして各五千圓の出資額とし同地の中村、新井、馬場、五島の諸氏及び平壤の齊藤久太郎氏等專ら其の計畫に奔走中にて近く創立を見るに至るべしと

●學部官吏地方視察

學部に於ては今回施設したる補助指定學校の視察及地方學事狀況取調の爲め曩に五組に分つて吏員を派遣したるが數日前何れも歸廳今回再び三組の吏員を派し隈本書記官李鎭譯官は濟州地方に山本趙兩主事は全羅南道地方に向け二十日出發松本李兩主事は二十一日慶州地方に向け出發したりと

●土地家屋證明簿燒失

慶尙南道彥陽郡に備付の土地家屋證明簿燒失したるを以て昨年三月十九日以前に該郡守の證明を受けたる契約書所持者は本年九月十五日迄に所持の契約書を該郡守に提出し再證明を受けざれば既證明の效力を失ふ旨法部告示を以て發表されたり

●農商工部と巡邏船

農商工部は曩に朝鮮海水產組合に對し沿岸巡邏船購入費補助として金五千圓を交付したるが今回左の二巡邏船を購入したる由

一、嶺南丸 積量十三噸餘 木浦港定繫

一、黃海丸 同 十六噸餘 仁川港定繫

右は何れも石油發動機附帆船にて西洋形木造船なりと

●前副統領の退京

滯京中の米國前副統領フェアーバンクス氏夫妻は二十二日退京仁川を經て大連に向ふ

●官制改正と鐵道院

十六日樞密院會議に諮詢せられたる韓國鐵道官制改正の內容は既電の如く統監府鐵道管理局を鐵道廳と改稱する事及び職員減少並に給與規則等なるが韓國の鐵道は他日滿鐵との連絡完成するに於ては滿鐵が鐵道院の管理に屬する關係上當然鐵道院の管理に移さゞる可らざるものなれば此際斷然鐵道院に併合し根本的の官制改正を斷行する豫定なりしも各般の準備當座の間に合はざる爲め差し向き急を要す可き前記の改正に止め大改革は之を他日に讓ることゝなしたるなりといふ

●仁川京商議員撰擧

仁川日本人商業會議所にては二十日午前九時民團役所樓上にかいて議員半數改選及び候補撰擧を行ひたるが其の結果は次號に報すべし

●東萊輕鐵の好況 東萊、釜山鎭間の輕便鐵道敷設は將に着手せられんとするの機に向ひ居れるが同鐵道敷設の曉に至らば將來大に有望なるを以て昨今韓人側より其株式を申込む者續々ありと云ふ

●大韓民報の披露宴 既報の如く大韓民報社にては二十日午後六時より中部惠泉館にて披露の宴を催したるが來賓は在京城日韓の新聞記者及通信員四十餘名宴開くや呉社長の挨拶に次で原田京城日報主筆の答辭あり次に皇城及大韓兩新聞社長及崔氏の祝辭演說等あり何れも和氣藹々たる內に散會したるは午後九時なりと

●桐原署長歸任期 東上中なりし南部警察署の同氏は廿六七頃歸任すべしと

●花田節氏の歸京 歸朝中なりし大韓新聞主幹同氏は廿日朝歸京せり

●山本芳甫氏の歸京 東上中なりし日本電報通信社京城支局員山本芳甫氏は廿日朝歸京したり

●侍從院卿派遣 韓皇には曾禰新統監出迎の爲め廿二日特に尹侍從院卿を大田迄派遣せらるべしと

●改革の要旨と理由

別項記載の如く鐵道管理局の淘汰は頗る大々的のものにて從つて休職者夥しきを以て本月末にあらざれば整理の見込み付かざる由なるが改革の要旨として顯はれたるものは從來統監府鐵道管理局なる名稱は統監府鐵道廳と改名されたるにあるが改革の理由として今大屋長官の語る處に依れば鐵道管理局なる名義は一方母國の鐵道院にもありて同一の名稱なると他の一方には鐵道の業たる全然行政廳と異なるものあるが故にて從來の鐵道管理局は舊官制の下に布設されたる鐵道の番人に過ぎず故に韓國にて他の場所に鐵道を布設せんとするときは調査すらも爲すこと能はず又民設の出願あるも何人が之れを許否し得るやも分明ならざりしと雖も新官制に於ては此等問題に付き其の權限を擴張したるものにて鐵道長官が鐵道廳に隷屬して盲判を押すが如き場合なきに到れる由にて要するに舊官制の如く總務、工務、運輸の三課を分立せしめず之れを統一的のものに改め以て長官一顧の下に活動せしむる組織なり云々と京通は報せり

近事片々

▲統監 曾禰子の談として傳はる所に依れば余程得意らしく言辭亦活氣を帶るが如し

▲韓國 經營の最急務は鐵道布設也と雖も金を出して呉れぬに困ると然り片々亦同感

▲橫斷 鐵道も無論急也と雖も平南鐵道は最も急務と是れ本紙の夙に唱道したる所也

▲車中 大朝記者に向て宜しく太皷を打て呉れ玉へ上手に打てば案外上手に踊らんと

▲其語 る所の語氣は總て得意滿面の面影有此分ならば西湖大人存外に活動すべきか

▲亦曰 く今回の陞任は分外の光榮只期朔如として聖明に答へ奉らむと左もありなむ

▲一進 會救濟問題にて久しく宋李の爲に惱まされし伊公も辭任に依り重荷を卸す

▲辭任 發表と共に例の殘金も無條件にて渡し一先落着を告ぐとの說は果して事實か

▲曾禰 新統監は暴徒に對する方針決定せりと言明せる樣子なるが其方針とは抑如何

▲而も 暴徒は北韓は別として其他に於ては全羅沿岸群島のみとの言は些と獨斷に過

▲果し て斯の如くんば軍隊を用ひず一の壓迫手段にて可なるも事實は決して然らず

▲統領 巨魁と目さるゝ者の多く縛に就きたるも事實されど巨魁は新に出來つゝ有

▲曾禰 子未だ地方の實況を知らず更に實地視察の必要有暴徒は今尙盛に起りつゝ有

▲單に 政治上の手段にて鎭撫せんとするが如き事あらば暴徒は容易に鎭定せざる也

▲米國 が近時極東殊に清國に於て優越の地歩を占めんと頻に畫策せらる着眼雄大也

▲米清 銀行設立の計畫の如き之が手始也今後に於ける米清の關係は大に注意を要す

▲英國 下院の勞働黨は露帝を國賓として接待することに抗議を申出せりと事實にや

▲勞働 黨の主張に於て左ることとなるが左りとは餘り狹量國交上斯の如きは隨分極端

▲獨逸 宰相ビユロー侯の位置は危險なるが如くして案外鞏固是此人の傑出せる所以

▲鬼權 と綽名ある木村權右衛門妻事件後顏然悔悟し基督教徒となる所謂善にも強し

▲久し く不和なる怜悧に五万圓の正金を與へて和合せりと人の性は決して惡ならず

●漁業出願の種別

二十日農商工部に接受したる免許漁業第一種日人三〇八韓人三〇四團体日人一七三第二種日人三六韓人一三五團体七第三種日人八五韓人一四九團体四三第四種日人三三韓人五七團体三三第六種韓人二二件にして既に許可済のもの一一九なりと

●凶作地方の救助

京畿道安山郡外八部の地は昨年は非常の凶作にて其の被害結數は約二千百六十一結飢察道よりも之れが救助方を請願したるに其筋に於ては爾來吏員を派し調査中なりしが其の結果社還米中より一千余萬石を販貸することゝなり既に六月七日より十三日迄に貸出す筈なるが同社還米の還納は本年秋穫の後に非ざれば來秋に於て全部還納せしむる筈なりといふ

●司法官採用試驗

法部は本年十月十三日を以て第十回司法官採用試驗を擧行する由志願者は同部の規則に依り司法試驗委員長中山勝之助に宛て請願書に履歴書及自己の寫眞を添付し同月二十日迄に法部に提出すべしと

(刊日)(刊休日翌日祭及曜月) 明治四十二年六月二十二日 京城新報 (火曜日) 第百四十一號 (三)

●漁業出願の種別 [illegible]

●凶作地方の救助

京畿道安山郡外八郡の地は昨年は非常の凶作にて其の被害結數は約二千百六十一結[illegible]察道よりも之れが救助方を請願したるに其筋に於ては留宗吏員を派し調査中なりしが其の結果糴還米中より一千余萬石を販貸することゝなり既に六月七日より十三日迄に貸出す筈なるが同社還米の返納は本年秋穫の後に非ざれば來秋に於て全部還納せしむる筈なりといふ

●司法官採用試驗

[illegible]本年十月十三日を以て第一回司法官採用試驗を擧行する由志願者は同部の規則に依り司法試驗委員長中山勝之助に宛て請願書に履歴書及自己の寫眞を添付し同月二十日迄に法部に提出すべしと

▲相談の相談▼(何んでも御相談に應じ升)

▲問● 私は當國に永住して商賈を營み樣と思ふに就ては韓國人の女房を持たうと思ひますが如何で御座いましょう(エス、アイ生)

▲答● 御相談の趣旨が少し通じ兼ねる所がありますが當國に永住さると云ふことは至極結構のこと又商賈を成さらうと仰云るも同樣結構ですが韓女を妻にすると云ふことは之れに關係がない樣に思はれます尤も差し問へはありませんが然し當地に於ても相當の日本人と御縁組の出來る便宜のあるのに韓女をと仰言るのには何か理由がなければならぬと思ひます又必ず無くてはならぬ之れを一先づ御開陳なければ事が分明しませぬ從つて御答の出來ぬと云ふことになりますから手數でも一度詳細に其の考へを書いて申し越しを乞ふ(係)

▲問● 小生は本年二十二、明治三十六年高等小學校卒業仕り三十八年病氣の爲め某醫院に養生旁々藥局生として三ヶ年餘調劑術を研究なしたれど將來の見込無之仍て二度迄海軍々人たらん事を志願なしたれど一度は身長不足二度目はトラホームにて不合格をなし殘念筆紙に盡し難し四十年五月突然渡鮮なし知人に官途に就職なしたき旨依頼し置きしに同年七月〇〇〇〇の給仕に採用され今日に至る最早二箇年餘然れど別に學才も無く給仕と云ふ卑職にては天高しと雖も脊を屈め地厚しと云へども荒く踏むこと能はず如何せば身に相當の俸給生活をなし得るや如何なる方面に向へば相當官途に就職し得可きや熱情溢れる記者閣下右御相當御返答を乞ふ(老給仕)

▲答● 遠慮の無い所君が自覺して居らるゝ如くモ少し御勉強なさらねば不可ませんね甚だ失禮だが小學校を卒業した丈けでは何の方面でも官途に一人前の人として就職することは到底駄目です御勉學が肝腎です序でに伺ひますが何故調劑師では將來の見込が無いと斷じられたのですか、兎に角それがなくては手品も使へませぬ、詳しくは御訪問下さいれ月に掛つて御相談致しませう(係)

●藝妓芝居の日取

▲花月樓の藝題變更

中檢番開業披露として當地の藝妓八十餘名總出にて藝妓芝居を演ずる旨は前號既に報導し置きたるが右は愈々來る二十八日より清華亭、松葉亭、花月樓、井門樓の順序にて四日間若しくは五日間當地歌舞伎座に於て開演する事に決定し目下各樓共开が準備[illegible]して演せしむる由なるが此兩少女は昨年も藝妓芝居に出演して非常なる好評を博したるのみか觀客の中には伊東文夫一座の子役だとか或は歌舞伎役者の連見なりなどゝ評されて全く素人とは思はれざりし程の腕前なりしかば這回も此兩少女が無邪氣の中に此悲劇の表情を現すに於ては定めて大喝采を博するならんか又松葉亭の染分手綱にては同樓の舞妓太郎が三吉を演ずると云へば是又大好評を得るならんとの話をチョット聞くがまゝ提灯持事如件

紳士の遊興振



▲明石元次郎君

陸軍少將駐韓軍參謀長兼憲兵隊司令官の君は福岡縣出身で若手將官中利者の一人で暴徒討伐の事業は殆ど君等の双肩に懸つて居る、傳へ聞く韓國の暴徒は用意周到幾幻出沒自在にして大掃蕩必ずしも効を奏するに非ず警察隊又如何共する能はず獨り憲兵に至つては有効な働きを爲す事を得る、そは憲兵が警察と戰鬪力を兼有するに依るからだ故に暴徒は憲兵を一番恐れて居る尤も是れは君が司令官たるが故のみの爲めには非ざるも併し君の與つて力ある事は疑ひない、君が曾て歐州某國の公使館附武官をして居た時分は恰かも日露戰爭の最中であつた嘘か實か知らね共當時君は某國の何んとか云ふ文覺上人に似た樣な坊主を使つて面白いバクチを爲た事もあるそうだ、斯樣な人柄故其遊興振も極めてキビ〳〵して其好んで滿を引く者はラーケルビールである元々ラーケルも水で無い以上は君をして醉はしむる事がある醉つた君は何を唄ふかと云へば先づ第一に出るものはラッパ節の「御料の馬に一鞭當て〳〵、行く〳〵仲國嵯峨の奥」續いて出る者は同じく御料の馬で又出るものも同じく御料の馬である、思ふに君は是以外何者も知らないのであらふ、されば仲國が御料の馬に鞭つて小督の局を訪ねたるは昔の優事なれど今の君にあつては栗毛の駒にでも跨つて早く暴徒の討伐がして欲しい呵々……

次は荻田書記官

●女房を捨て女郎買ひ

▲群山第一の大馬鹿者

仁川敷島遊廓一山支店に鶴松となん呼ぶ女郎あり此妓誤面相は之れはと云ふ程にもあらざれば評判も頓となかりしが此頃に至り俄かに景氣付き質物なんどは皆受け出したりとの評判に何か仔細のあらんと探つて見れば群山は全州通りに時計商を營める田中長太郎(三十)と云ふが昨年來仕入れの爲め仁川に來りし都度一山に登樓しては鶴松を聘して鼻毛を讀まし居たるが長太郎は此頃の暑さに愈々逆上し數日前數百圓を持つて仁川に來り原金に宿を取りたるも其の夜より一山鶴松の元に流連を極め込みしに此のことはいつしか群山に遺せし女房れみね(二二)の知る所となりしかばれみねは便船を求めて仁川に來り原金に良人長太郎を尋ねけるに來た時より一山樓に流連して居ると聞きたるも自身で一山に出掛けて良人を連れ返る譯にも行かざれば電話にて長太郎の歸館を促がし面會の上熟々意見に及びたる所鶴松の色香に溺れたる長太郎は親の許せし女房れみねの云ふことは耳にも入れざるのみか反つて前の樣な女は今日限り離縁すると無情にも手を切りたる後自分は其儘一山樓に驅け行き鶴松の元に至り自分は女房も離縁したれば群山を引き揚げ來るべしとて過日家財引纏めの爲め群山に歸りたる由なるが憐れなる女房れみねは本町四丁目丸竹と云ふうどんやに身を預け良人の無情に終日袖を濡らし居れりとは左もありなん

[illegible]り居たるを臨監中の警官に捕はれ同部署に引致し目の玉の飛出る樣に叱り付けられ恐入つて引下る

●危險なる小兒の惡戯 大和町二の四九伊藤善藏次男伊藤權之助(五つ)と云へるは昨日午後六時頃大和町二丁目道路に於て龍山山陽組雇人韓人崔文伯(四十)が荷馬車を挽き通行せるを横合より車輛に飛付きたるを以て崔は之を制止したるも小供心に聞入れざる中誤つて車輪に觸れ擦過傷を負ひたるも幸に輕傷にて即時醫師の手當を受けたるが子を持てる親達の注意すべき事共なり

●迷子二人 大和町一丁目大工職矢野米三郎長男秀近(四つ)は一昨日新町筋に彷徨して警官に保護さる△永樂町二の二五善次郎次男波木勝(四つ)は一昨日午后一時四十分頃本町七丁目を號泣彷徨し居たるを是又警官に保護され實父に引渡さる

●高島屋の新妓 愛知縣豊橋生れの小倉みち(二五)は源氏名を力彌と名乘り昨日番町高島屋より現はれしが同人は曾て横濱市眞金町金月樓に稼ぎ居たるものにて一寸踏める代物なりと

●不行儀な自轉車乘 南山町三丁目唐木細工業吉村勝平方雇人梶川登(二二)は一昨日午後〇時十分本町三丁目を自轉車に乘り臀部股部を露はし醜態を極め居りしを警官に認められ警察罰令に依り告發さる

●自轉車乘の違法 長谷川町一丁目三十三番戸ペンキ塗職中川勝馬(三二)は一昨日午後九時四十五分本町一丁目を無燈火の自轉車に乘り疾驅し居たを認められて告發さる

●百花園の花菖蒲 當地東五軒町百花園にては這般有名なる東京附下堀切りの菖蒲を移植したるが成蹟頗る良好にして來る日曜頃は最も見頃ならんと云へば一日の清遊を試むるも妙ならん

●桑原支店の大賣出 明治町より本町一丁目に移轉せし桑原支店にては昨二十一日より三十日迄移轉紀念として大賣出をなす由詳しくは廣告欄にあり

●惠阪呉服店の賣出 本町二丁目なる同店にては開業滿五週年の紀念として一昨廿日より來る廿七日迄大割引賣出しを爲せり

●仁川一の男地獄 仁川支那町邊に某組とて仁川有數の銘業者あり此の店に合津庭曲無(三十)と云ふ女食ひあり昨年の秋の頃小池病院の看護婦となしたる所情婦に小使ひも與ねぬのみか時々無心を吹きかくるにれ遂に愛想を盡かし小池の女房となりければ曲無は結句よいことゝし度々同院に行つては脅迫し無心を吹きかけ遂に小池をして夜逃げせしめたる程の男なるが今年の春頃一夜十進樓に登樓し十郎を揚げたる所勘定の出來ぬ所より大悶着を起し結局居殘を爲し居たる間に不圖仲居のお菊(五十)と云ふ婆さんとオツな情夫となりたる以來はお菊は子の樣なる曲無の口に乘り日々進樓を出て寺町石橋と云ふ下宿屋の二階を借り毎日毎夜合津庭と巫山戯たるまではよかりしが坐して喰はば泰山も空しとやられ菊は年甲斐もなく終に男の爲めに裸にせられ世間に顏出しもならぬより着のみ着まゝにて數日前逸陽に向ひたるが跡に殘りし合津庭は今度は誰れか金のありそうな女を捜し居るとかテモ物騒千萬

●劇場の猥褻男 佐賀縣藤津郡多良村當時京城居住の豊臣卯六(三九)と云へる馬鹿者は一昨夜京城座を見物中酒醉に乘じ二階より下桟敷に正宗空瓶を投げ飛ばし興が[illegible]

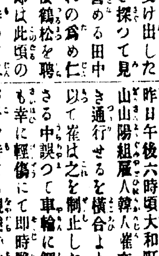
演藝界

▲壽座● は昨夜より小天狗米丸一座の浪花節に薩摩琵琶を加へて開演せり讀物如左 官員小僧義政傳(美どり)鼠塚の由來(駒之助)筑前琵琶(井上)吾妻鏡文化の花(駒[illegible])火消騷動(米丸)

▲京城座● 本日の出し物は「是天罰」にして役割左の如し 男逹磨惣太丹助(非奈波)高利貸鬼塚(石田)鈴川伍三郎(橋本)淺岡書記官、鈴川正兵衛(横山)花田儀一(吉野)十西剛三(松村)須崎五郎(巽部)妹れ艶(東)惡漢櫻三(青山)丹左衛門(瀬川)

▲歌舞伎座● 連日大入好人氣なる歌舞伎座[illegible]

[illegible]の市當一座本日の替りは前「野晒吾助」中「御所櫻三段目」切「白木屋」にて役割左の野晒吾助、才三郎(福高)浮世戸平(年樂)侍從太郎、丈八(雀三郎)臺場仁三、庄兵衛(三河屋)六字南彌右衛門、辨慶(市當)れかじ、花の井、れ駒(米花)れ花信夫、京の君(市圓)れよし、れわさ(歌之亟)



▲博士江木衷と云ふ人の著書冷灰漫筆の廣告文に、書生、學者、法律屋、政治屋、實業家、教育家、官吏、平民、坊主、神主、百姓、町人、男子、女子等も皆讀めと書いてあるが其の内の平民の一句は意味のないもので列ねたる各職業の内の何れにも平民は居らう華族も士族も平民もと云ふ風に階級別にしたのなら男子も女子もと續けて差し問へはないが彼の如き配字中に在つては平民も讀めの一語は無意味になる計りでなく全體の構想を打ち壞して終ふ、余を以て見れば平民の一句を除いて貧者も富者もの二句を入れた方が宜しいと思ふ(理窟家)▲私に於ては異議なし(小僧)▲日本内地で癩病患者の多いのは熊本の八千八百廿二鹿兒島の五千六百廿が兩大關で總患者數は十萬二千五百八十五人だ此に第一期に屬する系統患者の數を加へたら莫大なものだ悚然たらざるを得ぬ最少數なは富山の二百四十人だ相な(統計家)▲天眞樓の前に小な紅梅燒屋がある彼の家の內儀ころは東京淺草仲店の紅梅燒屋の招牌娘れ仙鐵のなれの果一度は臺灣に迄情夫と驅落ちと出掛けたが流れ〳〵て今は前記の箇所で昔し取つた紅梅燒屋と逆戻り紅梅燒だけに未だ何處やらに茶人の面影がある仙さんイヤサれ仙ヤ久し振りで變つた所で逢ふものだナア浮氣心は微塵も出さず今の亭主を大切に仕なよ(昔馴染の新來生)▲北米倉町の岡の家と云ふ家は新規開業したのだが餘興に福引等あり加之に安く飲ませる座敷も奇麗だし仲居も美人で申分はないがホンの當座の勉強でなく永當〳〵今の樣な心掛けに願ひたい(自稱通人)▲本町一丁目石橋の角の牛肉店は客に對して甚だ不愛想だ過日も鳥肉を買ひに遣たら使ひの者を待たせて居いて悠々と骨掃除を行らかして其の肩の機なものを賣つて寄越した不都合な奴だ私の家ではモウ彼家へは買ひに行らぬ

(星)▲他人の過失を責める際彼れの非を悟つて悄然として居る場合には深く咎めぬがよい人の弱點を知りながら執拗に追窮せらるゝと非を知りながら抗を試みるものだ斯くては責むる人自身の威嚴にも關係するものである[illegible]なるは斷じて不可也(酌量生)▲ドンナに答ふ、君は僕の指頭觀相の全文を見してない樣だ即ち僕は「二ッ以上」と置いた物が指輪だから二つ以上とは二つ以上を指したものだ例之アノ娘は十八かなと云ふ場合にイヤ其樣ことがあるのかモウ十八以上だらうと云つたとて君は之れに十八歳を含むものと見るかとはヨリウエと云ふことだよ(指頭觀相生)▲ヤ益々面白い(小僧)

●天氣豫報(自廿一日午後六時至廿二日午後六時)
西の風晴
二十日 最高温度(華氏)八〇、六 最低温度 六三、五

各種

洗濯石鹼

專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹼製造所

りん病全滅

▲完全なる最新藥の出現と驚く可き効驗▼
▲絶望の淵に沈める淋疾患者に赫く光明▼

男子が淋病を輕微なる疾病なりと誤認して放任したる結果、病毒は漸次血液中に進軍して幾多の續發症を起し、遂に睾丸炎を惹起すに至り、又は恐るべき塊血症、濃毒症の如き狀態を現じて、果ては貴重なる生命を失ふに至るべし、故にりん病患者は一刻も早く淋球を服用して怖るべき病源を根治せらるべし

帝國醫科大學實驗

內用 淋球

價三日量五十錢七日量一圓廿八日量三圓五十錢

婦人の痳疾（せうかち）に至りては男子よりも一層危險甚く、深く家庭の奧に潛伏せる病毒の禍害は兎角婦人の羞恥心の爲に蔽はれて、應急の治療を怠る爲に、救ふべからざる生殖器諸病を續發して遂に斃るゝに至るは往々世上に見る處なり故に淋病患者は輕症たりとも寸時も忽にせず、直に淋球を服用して恐るべき淋菌の擴殖を未然に防ぎ、永く家庭の和樂を保護し給へ

大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局

本舖

特約店

京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話九〇四番 電話一〇六八番

同本町三丁目 新井藥房第一分店 電話四七八番

同南大門外 新井藥房第二分店

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す

南大門外御成町紅葉舘跡（茂呂運送店前）

開通 戸田病院 電話九三八番

●滋養と牛乳●

純良 牛乳

京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

馬車配達

●衛生と消毒●

內外科、眼科、花柳病科（入院 隨意）

本町六丁目五十番戸

瀧澤醫院

（電話七二二番）

支店開設披露

今回左記の所へ支店開設致し候に付開業披露として左の如く割引販賣候條御懇命願上候

自本月十五日 至八月十四日 六十日間

掛置時計懷中時計一切 正價より一割五分引

外に貴金屬附屬品に限り正價より五分引

京城本町二丁目 時計自轉車小賣部 喜多金光堂支店（電話架設中）

仁川本町三丁目 時計自轉車卸部 喜多金光堂本店（電話七百五番）



京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏（電話四百十三番）

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢

蛋白脂肪消化 ヂゲスチン 錠劑十日分（三十粒入一瓶）三十錢 散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候

各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

訂正增補 第六版特價即賣廣告

大日本人名辭書

大本全一册（紙數二千七百五十頁）定價金拾五圓

六月三十日限り ◉特別割引金九圓

本版は人員に於て四千三百餘名を增補し附するに諸系譜並に和漢洋年表を以てしたれば前版に比し一層本書の面目を新にせり、乞ふ此好機を逸せず速に御注文あらんことを、御送金の上は直ちに發送致すべく候

但東京市外は小包郵便料四十八錢、臺灣、淸、韓、樺太七十錢を要す

明治四十二年六月

東京京橋彌左衞門町七番地 電話新橋 八十七番 振替東京 二二二九番

合名會社 經濟雜誌社

歐米直輸入

東京高崎製金庫並に戸扉
東京岡崎製喞筒
ジユタンリノリーム
西洋家具室內裝飾品
卓子椅子各種
ストーブ及石炭
最新式謄寫版
ロツピープレス及復寫紙
ホツチキス自働紙綴器
衞生器各種
賣專二重瓶及回轉式喞筒
特許消火器
ヒゲタ印醬油
建築金物類



京城支那領事館通 清韓洋行（電話四九四番）

各カタローグ申込次第呈送す

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品

品質優等、意匠御麗、

G.D. 印トルコ金口煙草（百本入 十本入）

外各種

百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話（七一五番）

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

京城旭町一丁目六十七番戸

辯護士 岡田榮

（電話三九八番）

諸官衙御用品調達

各學校御用品調達

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類

委托販賣

東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

移轉廣告

從來の向へ元（韓城新聞社跡）へ移轉す

病室完備 入院隨意

十全病院

電話七三七番

開業御披露

本町二丁目本町座跡

ビヤホール共樂園

庭園の閑雅なる器具の淸潔なる待遇の懇切なる低廉なる價格のは共に我園の誇こする所なり

卸 小賣



新茶賣出し

京城本町九丁目 富士の里茶舖 電話九九七番

▲懇切の下宿▼

かめ屋

壽町二丁目十番戸橫小路（元花屋跡）

▲淸潔の下宿▼

客室の淸潔こ調理の美味こ御扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々數御投宿の程御願申上候

大勉强

改良御料理

御一人前

金五十錢均一

御酒二本

御肴三品

西小門通り

東京樓

東洋總代理店



電話壹〇八四番

明治廿年七月創立

東京火災運送保險株式會社

資本金一千萬圓

●京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

桶類

製造大安賣

明治町一丁目橫町通

矢野商店

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

和洋酒、精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尙御望に依り商品切手調進仕候

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

牛馬犬豚 治療所（入院 隨意）

京城明治町三丁目（電話四二七番）

小川家畜病院

獸醫 小川龜太郎

鴨綠江特種木材丸州セメント取次販賣

末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材

京城旭町三丁目

建築業 柴田芝六

電話五六八番

御披露

高等會席

冷ビール付

御一人前一圓

明治町三丁目（東拓會社下隣）

一力

日本郵船株式會社

瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通

郡回漕店

電話三九番

釜山長崎門司神戸行 山東丸 七月四日午後三時出

大連、太沽、牛莊行 高砂丸 七月一日正午時出

大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月二十二日午前十時出

大連、大沽、牛莊行 酒田丸 月 日

釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 月 日午後

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一箇月前金四十錢 一ケ月前金…

●廣告料 五號活字十九字詰一行一回五十錢…

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太郎

發行所 京城 新報社

電話六六三番